

つなぐ

TSUNAGU
NUMBER
22

第7回 日本農業検定のご案内

～よき農業の理解者・応援団づくりをめざして～

日本農業検定は、平成25年より、よき農業の理解者・応援団づくりをめざして検定を開始し、7年目を迎えます。平成25年より3級、平成26年より2級、平成28年より1級をスタートし、基礎的な知識から農の現場で使えるような総合的なレベルまで学べる検定となりました。平成30年度については1級343名・2級1004名・3級1644名、合計2991名の方が受検し、これまで以上のべ1万3000名以上の方に受検していただきました。前年度と比較すると、3級から段階的に上の級をめざす方が増えています。JAグループでは全体の約8割にあたる2339名の方が受検され、1453名の方が合格されています。JAの自己改革を実践するなかで、日常業務で農業の現場と接する機会の少ない窓口担当者などが農業の基礎的な知識を習得することにより、組合員との

TEST

日本農業検定の過去問題3級にチャレンジ!

QUESTION

トウモロコシの栽培についての説明で、正しいものは次のうちどれですか。

- 1 発芽に必要な栄養分は種子には含まれていないので、肥料を十分に与えることが必要である。
- 2 トウモロコシは灌水などの管理を続けると、2回程度は収穫できる。
- 3 トウモロコシは、ダイズをスプラウトとして栽培したものである。

← 答えは次のページをご覧ください



コミュニケーション能力の向上や営農指導員のスキルアップなどに活用されています。また、2級や1級の資格を人事考課の指標の一つとして採用していただいているJAもあります。テキストは内定者研修や新入職員研修でも活用されています。ぜひ、導入をご検討いただくとともに、継続の受検をお願いいたします。

[日本農業検定に関するお問い合わせ先]

一般社団法人 全国農協観光協会(日本農業検定事務局)
〒101-0021 東京都千代田区外神田1-16-8 Nツアービル4階
TEL 03-5297-0325 FAX 03-5297-0260

日本農業検定のホームページもあわせてご覧ください。
<https://nou-ken.jp/>

「旅行業務取扱管理者
国家試験対策講座」の特徴

GUIDE

2

旅行業務 取扱管理者(国家資格)を 取得すること どのようなメリットが ありますか?

JA旅行センターなどの旅行業関係従業員の資格拡充と担当職員の資向上のため、全国各地で国家試験対策講座を開催しています。本講座は短期集中型であり、入学金・入会金なしの受講料のみ費用負担であるため、参加しやすく、旅行業界をめざす人のほか、観光産業に就業中の人にも大変好評をいただいています。総合・国内とも専任講師が行い、ねいな講義を行い、試験に向けて参考になった、わかりやすかったなど受講生からも支持を得ています。

旅行業務取扱管理者(国家資格)は旅行代理店、ホテルや公共交通等の観光関連業務に就職する場合同、有利になります。また、旅行業法及び関係法令、旅行業約款及び関係約款、国内・海外旅行実務を学ぶことは、観光関連業務に携わるときに非常に役立ちます。

2018年度(平成30年度)、全科を受験した場合ですが、「国内旅行業務取扱管理者試験」は受験者数1万3550人に対し、合格者数5188人で合格率は38.3%。「総合旅行業務取扱管理者試験」は受験者数4512名に対し、合格者数は495名で合格率は11.0%となっています。

旅行業務取扱 管理者試験の 難易度はどのくらいですか?

[旅行業務に関わる各種研修会のお問い合わせ先]

一般社団法人 全国農協観光協会(教育研修事務局)
〒101-0021 東京都千代田区外神田1-16-8 Nツアービル4階
TEL 03-5297-0324 FAX 03-5297-0260

VOICE

平成30年度 国家試験対策講座受講生のアンケートより(一部抜粋)

かならず毎年出される問題の解説や覚え方など自分では習得しづらかったことを教えていただけたので、とてもよかったです。

まったく出題傾向がわからなかったので、情報収集も含め大変参考になりました。

講義を受けて自分の得意不得意部分が明確にわかりました。不得意部分を克服できるような、がんばります!

試験に出るポイントや得点するための攻略法など大変有意義な講義でした。

TOPICS GUIDES

2019年度 旅行業務に関する 各種研修会・国家試験 対策講座のご案内

全国農協観光協会は、JA組合員や地域住民の余暇・観光レクリエーション活動へのニーズに因るため、旅行業務に関する研修会を各地で開催しています。

その目的はJA旅行センターなど、旅行業関係者の業務遂行能力の向上や資格拡大です。そのほか、観光産業への求職者などの人材育成を支援するため、さまざまな研修会を行っています。

旅行業務に関する 各種研修会

全国農協観光協会の

「旅程管理研修」の実績

GUIDE

本会は平成5年、運輸大臣（現観光庁長官）から「旅程管理研修機関」の指定を受けました。以来、JA旅行センターをはじめとする旅行業関係者を対象に全国各地で研修会を開催しています。事業を開始した平成5年から平成30年度末まで、「登録研修機関」として約1万5千人以上の「旅程管理主任者」を輩出しています。

今後採用予定の社員を受講させたいが、実務経験がなくても受講はできますか？

A 受講できます。

A 11「旅程管理業務」を行う者として旅行業者によって選任される者のうち主任の者」に定める、いわば「主任添乗員になるための資格研修」です。

Q 受講対象者は？

A 受講対象者は、現に旅行業（旅行会社等）に従事されている方（内定者も対象者）と全国通訳案内士、地域通訳案内士のみになります。

旅程管理 研修会とは？



旅行業務に関する各種研修はホームページにて募集中です。
<https://www.znk-kensyu.jp/>

VOICE

平成30年度 旅程管理研修会受講生のアンケートより（一部抜粋）

経験豊富な先生が自身の体験談を交えながら説明をされていたので、イメージしやすくわかりやすかったです。現場でも活かしていける内容でした。

とてもいい勉強になりました。

講義内容がわかりやすく、添乗業務だけでなく日々の業務に活かしていくことができる内容が多いのでとてもためになる講義でした。

旅程管理研修会は大都市で開催されていることが多いので、地方会場でも実施していただき大変ありがたかったです。

1ページの 解答と解説

解答：2

地際から2cmほどの高さで切り取り収穫します。その後、灌水などの管理を続けると成長し2回程度は収穫できます。



子どもたちの食育におすすめ！豆苗栽培キットも販売しています(アグリスクールなどで活用事例あり)

受験に関すること

| 受験種別 | 個人受験 | | 団体受験 |
|---------|---|---|---|
| 会場種別 | 公開会場(東京・大阪) | CBT会場(全国約200箇所) | 準会場(団体指定の会場) |
| 試験日(期間) | 2020年1月11日(土) | 2020年1月7日(火)～1月18日(土) | 2020年1月10日(金)～1月18日(土) |
| 申込期間 | 2019年10月1日(火)～11月29日(金) | 2019年12月2日(月)～12月26日(木) | 2019年10月1日(火)～11月29日(金) |
| 人数要件 | 1名から受験可 | 1名から受験可 | 5名以上 (人数の他に、下に記載の「団体受験の要件」を満たすことが必要です) |
| 検定会場 | 指定会場(東京・大阪) (受験申込み後、詳細をご案内します) | 全国約200箇所の指定会場 (受験者が選択できます) | 試験実施団体が 準備・提供する会場 |
| 解答方法 | マークシート方法 | パソコン画面の表示に基づく回答 (CBT方式) | マークシート方式 |
| 申込方法 | <ol style="list-style-type: none"> 1 申込期間に「日本農業検定」ホームページから、公開会場受験の申込書をダウンロードします。 2 申込書に必要事項を記入し、e-mailに添付またはFAXで事務局に送信します。または「CBT会場」欄に記載した申込方法でも申込みができます。 | <ol style="list-style-type: none"> 1 申込期間に「日本農業検定」ホームページの申込み画面にアクセスします。 2 (初めて利用する方は新規受験者登録後)マイページにログインして申込みます。 | <ol style="list-style-type: none"> 1 申込期間に「日本農業検定」ホームページから、団体会場受験の申込書(Excelシート)をダウンロードします。 2 申込書に受験者氏名・生年月日など必要事項を記入し、e-mailに添付して事務局に送信します。 <p>※「団体受験」は、以下に示した「団体受験の要件」を満たすことが必要です。</p> |
| 結果発表 | 2020年2月末(予定) | | |

CHECK

団体受験の要件

※団体受験(準会場での受験)は、右の要件を満たしていることが必要です。

- (1) 受験者人数が5名以上であること。(各級あわせて5名以上であれば受験が可能。同一級5名以上でなくても可。)
- (2) 検定会場・試験監督を準備・設定・配置できること。
- (3) 検定試験実施にあたっては日本農業検定実施要領を遵守し、厳正公正に実施できること。
- (4) 検定問題等を試験期日まで適正に管理し、問題を漏洩しないこと。
- (5) 検定試験実施にあたり、知り得た個人情報および問題情報を開示、漏洩しないこと。

試験に関すること

| 検定級 | 1級 | 2級 | 3級 |
|-------|---|-------------------------------------|------------------------|
| 受験資格 | 受験に際しての資格要件はありません。(どなたでも、どの級からでも受験できます。) | | |
| 出題範囲 | 各級とも、「農業全般」「環境」「食」「栽培」の4分野について、「日本農業検定」各級テキストに記載された内容から出題します。 | | |
| 問題数 | 70問 | 70問 | 50問 |
| 試験時間 | 70分 (試験開始40分以降は退出可) | 60分 (試験開始30分以降は退出可) | 40分 (試験開始20分以降は退出可) |
| 実施時間 | 公開会場 | 15:20～16:30 | 13:20～14:20 |
| | CBT会場 | 受験申込時に受験者が選択した時間(時間は会場ごとに予め決まっています) | |
| | 団体受験 | 団体で指定した時間 | |
| 合否基準 | 正答率により判断するものとし、下に示した正答率以上を原則とする。ただし、問題の難易度により、若干の得点調整を行う場合があります。 | | |
| | 正答率70% | 正答率60% | 正答率60% |
| 学習の方法 | 本検定試験は『日本農業検定』各級のテキストが出題範囲となっています。受験級のテキストの内容を充分学習して検定試験に臨んでください。なお、ホームページに各級の過去問題を掲載しています。 | | |